

プラスチック製容器包装の年間排出量見込(可燃ごみの削減見込)

可燃ごみの組成分析結果(H14年度～H18年度の5ヵ年平均)より

①可燃ごみ中のプラスチック製容器包装

	重量(kg)	比率(%)
H14年度	27.13	4.20
H15年度	22.44	3.83
H16年度	24.92	4.10
H17年度	47.60	7.57
H18年度	61.02	10.67
平均	36.62	6.07

※プラスチック製容器包装は、以下の①～⑤の合計

- ①プラスチックボトル
- ②白色発泡スチロール製食品トレー
- ③その他の発泡スチロール製トレー
- ④レジ袋
- ⑤その他

②平成18年度の家庭系可燃ごみ収集量(推計):53,450^ト

③可燃ごみ中のプラスチック製容器包装の年間排出見込量
 $53,450(\text{ト}) \times 6.07(\%) = 3,244(\text{ト})$

④このうち、適正物(汚れの取り除かれているもの)の割合を約7割と見込むと、
 $3,244(\text{ト}) \times 0.7 = 2,271(\text{ト})$

資源類を除くごみの将来予測量(平成18年度:101,450^ト)

平成18年度の実績値 92,951^ト (目標値 81,160^ト)

8.4%
抑制

平成18年度の推計値 90,680^ト (目標値 81,160^ト)

10.6%
抑制